

○ 優良協働事例の紹介（平成 25 年度）

「東日本大震災支援県民本部の活動」

平成 25 年度信州協働大賞【特別賞】

1 主な協働の主体

主団体：東日本大震災支援県民本部（平成 24 年 4 月 20 日解散）

長野県経営者協会

長野県中小企業団体中央会

長野県商工会議所連合会

長野県商工会連合会

長野県農業協同組合中央会・各連合会

NPO

長野県社会福祉協議会

長野県（危機管理部危機管理防災課、企画部県民協働・NPO課、次世代サポート課、健康福祉部地域福祉課）

長野県教育委員会（教育総務課）

2 事業に至った経過

震災発生の 5 日後（平成 22 年 3 月 16 日）、のちに「東日本大震災支援県民本部」設立発起人となる一部の団体関係者が知事室を訪れ、官民協働による被災地支援の必要性について話し合いが行われました。県を含む様々な団体が、被災地に対して支援物資や人材の派遣等を始めていましたが、被災地からの情報が錯綜する中、かつて経験したことのない未曾有の大震災支援には、「これまでになく県民の思いや被災地からのニーズを受け止めるための対策が必要となる」との意見により、様々な検討がなされたのち、官民協働の支援プロジェクトとして「東日本大震災支援県民本部」が誕生しました。



3 事業内容

- (1) 東日本大震災支援県民本部運営委員会の開催
被災地からのニーズや県民への情報提供に関する具体的な活動方法等の話し合いを実施

開催回数 15 回

- (2) 相談対応



行政機関で受け付けていない小口の支援物資の提供に関する相談やボランティアの受け入れ情報や手続きの相談に対応

相談件数 507 件



(3) 栄村への支援

栄村の復興を考えるワークショップの開催や県内からのりんごや軽トラックの寄贈などの支援を実施

(4) 子どもリフレッシュ&交流事業応援プロジェクトの実施

ア 子どもリフレッシュ募金の活動

マスコミ各社の協力を得た広報活動や長野駅前街頭募金活動などを実施

募金総額 448 口 25,374,060 円

子どもリフレッシュ&交流事業応援プロジェクト
 ～被災地から子ども達を信州へ招待する活動を支えてください～
子どもリフレッシュ募金
<http://shien-nagano.jp/kids-fund/>

長野県北部被災地及び東日本震災により、今なお様々な生活を強いられる被災地の子ども達、特に食料不足に苦しんでいる福島県の子ども達を信州に招待し、豊かな自然と人々の優しい笑顔の中で、同世代の信州の子ども達と楽しく交流し、未来につながる友情を育くみながらリフレッシュしてもらいたいという希望や、そうした願いを支援したいという声が、多くの市民の背から寄せられています。

そこで、県内の団体やNPO等が主催する、栄村の子ども達と信州各地でのリフレッシュ活動や、東日本の被災地から子ども達を信州へ招待し、同世代の子ども達とキャンプ等で交流する事業に対して助成金を提供することを目的に、皆さまからのご寄付を募集いたします。

募り込み済
 別の各種集額の口数にはお入り込みください。
 (募金額を調整しての募集は行いません。)

八十二銀行 療育内支店 普通 668317
 東日本大震災支援県民本部
※九一二銀行各支店窓口でのお振込みの場合、手数料は無料

長野県労働金庫 本店営業部 普通 9816592
 東日本大震災支援県民本部
※長野県労働金庫本店窓口でのお振込みの場合、手数料は無料

長野銀行 長野支店 普通 8448797
 東日本大震災支援県民本部
※長野銀行本店窓口でのお振込みの場合、手数料は無料

長野県信用農業協同組合連合会 本店 普通 0010511
 東日本大震災支援県民本部
※県内のJAバンク窓口でのお振込みの場合、手数料は無料

受付期間
 2011年6月24日～2011年12月末
※受付の申し込みは随時受け付けております。
 ※受付の申し込みは随時受け付けております。受付の申し込みは随時受け付けております。
 ※受付の申し込みは随時受け付けております。受付の申し込みは随時受け付けております。
 ※受付の申し込みは随時受け付けております。受付の申し込みは随時受け付けております。

東日本大震災支援県民本部
 募金に関するお問い合わせ (担当: 野木・高橋) 助成に関するお問い合わせ (担当: 菊池)
 〒180-8570 長野県 佐佐木町 下492-2 長野県庁西庁舎10号会議室
 TEL: 026-266-0121 FAX: 026-266-0122
 Eメール: shien@shien-nagano.jp URL: http://shien-nagano.jp/

【協賛】 信濃毎日新聞社 朝日新聞社 長野日報 長野県民新聞社 毎日新聞社 長野支局 中日新聞社
 日本経済新聞社 長野支局 長野日報社 SHK建設株式会社 NBS長野放送 TBSテレビ信州 山形県朝日放送

イ 子どもリフレッシュ募金助成事業の実施

子どもリフレッシュ募金助成事業選定委員会により助成事業を決定の上実施

事業数 64 件、参加子ども数 1,723 人

(本部解散後、子どもリフレッシュ事業助成委員会 (H25.12.2 解散) で実施)



(5) 情報発信

活動報告を掲載した「けんみんほんぶ」を制作し、社会福祉協議会などを通じて、県内に

避難されている方などに配付



(6) シンポジウムの開催

平成 24 年 2 月 26 日長野市の勤労者助成会館しなのきにおいて、「被災者の声、県民の思い、未来のために」と題したシンポジウムを開催



4 各主体の役割分担

県 県民本部事務局の設置場所の提供

県民本部は事業の実施主体ではなく、調整コーディネート機能を担っているため、各団体が県民本部運営委員会の話し合いに基づき、得意な分野で協力しました。

5 事業の成果

官民協働によりそれぞれの協働主体の間で信頼関係が構築されたことで、様々な成果がありました。

(1) 震災、ボランティア情報の収集、共有、発信

国・自治体を通じた被災地情報、ボランティア情報は、県等と連携し情報共有できました。被災地に入った人たちが現地で得た情報や支援ニーズ、県内に避難した人たちを支援している団体や県民が感じている支援ニーズ等の情報を収集、発信ができました。

(2) 県民の思いを受け止め、つなぐ（被災者・被災地のニーズとマッチング）

県民や企業、団体からの申出を受け、ボランティアを求めている被災地自治体や申出内容

に合致する支援活動を行う団体などとのコーディネートができました。

支援物資については、行政の窓口が対応できない小口のを被災地に届けたり、被災地からの個別の要請を県民の支援とつないだりすることができました。

(3) 子どもリフレッシュ&交流事業応援プロジェクト

東日本の被災地から子ども達を県内に招待し、キャンプ等で交流したり、長野県栄村の子ども達にリフレッシュしてもらったりするため、県民本部が募金の募集を行いました。

この募金から、県内の多くの団体が行う交流事業などに対し助成が行われ、被災地の子どもたちにたくさんの楽しい思い出と笑顔を送ることができました。

6 今後の予定

平成 24 年 4 月 20 日解散したため、活動予定はありませんが、これからの災害対策や県民参加の協働の機会となりました。

今回のような大規模災害が発生した際の官民協働による被災者支援のモデルとして、ノウハウが活かされることが期待されます。